

友の会発表会 川辺の音楽会

1. イベント概要

日 時：平成31年3月16日(土)13:30～15:30
 会 場：信濃川大河津資料館4F展望室・3F情報ライブラリー
 内 容：信濃川大河津資料館友の会の皆さんによる発表会が行われました。
 主催者：NPO法人信濃川大河津資料館友の会
 参加者：約60名



多くの方々が訪れ会場は大いに盛り上がりました。

2. イベント状況

信濃川と大河津分水路を眺めながら全8プログラム14演目が披露されました。大河津分水路拡張工事の話にかけた一人芝居や信濃川補修工事に携わった技術者に関する歌の発表もあり、大河津分水の歴史と現在の改修工事に思いを馳せられる音楽会となり、皆さん大変喜んでいらっしゃいました。



燕市に伝わる芸能「祝言」の一人芝居では、大河津分水路改修工事の「ひらく」にかけた軽快なお話があり、会場が盛り上がりました。



普段は、酒蔵ライブや福祉施設で演奏されている皆さん。その音色は川の流れるように流暢に響き渡りました。



第1部終了後には、「祝言」で使われた、大河津分水に自生する「ヨシ」で作った小道具が配られ、皆さん喜ばれていました。



信濃川補修工事の総責任者だった青山士の著書「ばなま運河の話」に掲載されている「椰子の実」をピアノ伴奏で歌いあげる発表も。



最後は、宮本武之輔が作詞した「信濃川補修工事の歌」を補修工事時代を思い起こしながら、来場者全員で合唱しました。

演者の声



燕市牧ヶ花に江戸時代から伝わる芸能「祝言」は夫婦仲良しで人生を歩いていけば道が「

ひらける」という内容で、大河津分水路改修工事の「ひらく」とかけて話をしました。一人芝居歴は長いですが、資料館の4階は広々としていて声も通り、気持ちよく自然体で演じることができました。来年度のプログラムも考えているので、またぜひ大勢の方に来てもらいたいです。